

創立百周年記念・九州大学総合研究博物館特別企画

旧工学部知能機械実習工場空間展示 「Breathing」



平成23年5月22日(日)から29日(日)、箱崎キャンパス旧工学部実習工場(現・第一分館倉庫)

にて、総合研究博物館が所有する資料のうち、九大設立時から間もない時期に購入された工作機械や骨格標本などを展示する特別企画が開催されました。百年の時を重ねてきた数々の資料や資産を展示することで、百年という時間の積み重ねを来場者の皆様に広く体感してもらうことを目的に開催されたもので、会場は服飾デザイナー大鶴憲吾氏によって感性的な空間アレンジが施されました。

学内外からたくさんの来場者

が訪れ、工学部の卒業生の方や元技官の方が懐かしそうにする姿、工作機械関連の仕事に携わる方が興味深く展示に見入る姿も見られました。今後、九州における歴史的な工作機械のアーカイブへと発展することも期待されます。

総合研究博物館では、今秋この第一分館倉庫を会場にして、芸術工学研究院の教員や統合新領域学府の学生と、音楽を中心にした百周年記念の催しを計画しています。



創立百周年記念

九大VS広大アメフトスペシャルマッチ



平成23年5月15日(日)、穏やかな晴天に恵まれた伊都キャンパスにおいて、九州大学と広島大学のアメフト部によるスペシャル・エキシビジョンマッチが開催されました。

PALOOKAS(九州大学)は今年で創部35周年を迎え、これまで九州のアメフト部をリードしてきた強豪チームです。今回九州大学の創立百周年を記念し、中・四国の雄である RACCOONS(広島大学)を迎えてのスペシャル・エキシビジョンマッチを開催することになりました。

試合は序盤、九大がフィールドゴールで3点を獲得しつつも

その後はどちらも譲らない戦いが続いていましたが、最終クォーターにて、3度のタッチダウンを決め、24-10という大差で九大の勝利。創立百周年を飾る試合となりました。

